

12月1日は「世界エイズデー」

～知っていますか？エイズとHIV 感染～

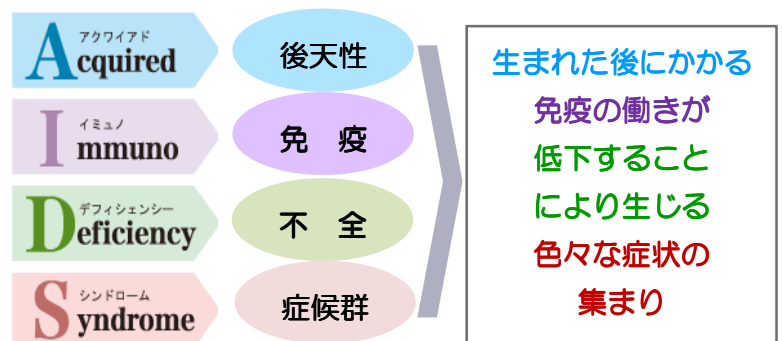


現在、エイズ（AIDS）の問題は世界が抱える最も大きなテーマのひとつです。「世界エイズデー」とは、1988年にWHO（世界保健機関）が12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱しました。その後、1996年からUNAIDS（国連合同エイズ計画）もこの活動を継承しています。日本でもその趣旨に賛同し、エイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進し、エイズ蔓延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図ることを目的として、12月1日を中心に「世界エイズデー」を実施しています。

■エイズ（AIDS）/ HIV の基礎知識

●エイズ（AIDS）とは

エイズ（AIDS）とは、英語の Acquired Immuno-Deficiency Syndrome の頭文字をとったものです。日本語では「**後天性免疫不全症候群**」といい、生まれた後にかかる（後天性）、免疫の働きが低下すること（免疫不全）により生じる、色々な症状の集まり（症候群）という意味になります。



●エイズ（AIDS）/ HIV ってどんな病気？

1. エイズは HIV に感染することによっておこる病気です。

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）は、免疫のしくみの中心であるヘルパーTリンパ球（CD4細胞）という白血球等に感染します。そして、からだを病気から守っている免疫力を破壊していきます。

2. HIV に感染してもすぐエイズを発症するわけではない。

HIV に感染すると、通常6～8週間経過して、血液中に HIV 抗体が検出されます。感染から数週間以内にインフルエンザに似た症状が出ることがありますが、この症状からはHIV感染をしているかどうかを確認することはできません。HIV検査を受けることで、はじめて感染の有無を確認することができるのです。

感染イコール発病ではありません

HIV 感染 の一般経過

HIV 感染、その後の無症候期（自覚症状がない時期）

HIV に感染しても、それに由来する症状はありません

エイズ発症、日和見感染症（免疫力が低下すると出現する感染症）の発症

治療の進歩により、エイズ発症を予防したり遅らせたりすることが可能です。また、発症しても治療により、免疫力を再び高めることもできます。きちんと医療機関で継続して治療を受けることが、HIV のひとつの重要な対応です。

●HIV は、主に3つの経路で感染します

1. **性行為による感染**：もっとも多い感染経路です（感染原因の80%以上）。
2. **血液を介しての感染**：HIV が存在する血液の輸血や、覚せい剤などの依存性薬物の“回しうち”による注射器具の共用等によって感染します。
3. **母親から赤ちゃんへの母子感染**：妊娠中や出産時に赤ちゃんに感染することがあります。

